



鈴木 潔
しきの会・維新

◎鈴木潔議員

本市でも、ふるさと納税の返礼品に工夫を凝らし、災害時相互応援協定などを行っている群馬県館林市、長野県飯綱町、千葉県東庄町との連携を図るなど、あるいは専門企画会社にお願ひし、新しい企画を立ててはと思うが、いかがか。

ぜひとも、この企画などについても、担当部局だけではなく、企画を含めて市内部全体でどうするか考えるようお願いしたい。

なお、本市に納税された金額と他市への寄附に伴う減税額は幾らか。また、その差は幾らか、平成27年度の結果と平成28年度の見込みについて伺う。

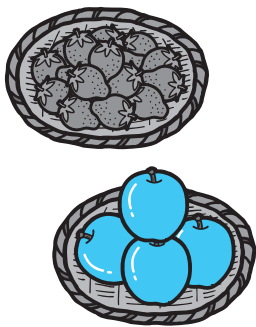
◎総務部長

今後、市内事業者の魅力ある商品を返礼品として提供いただけるよう、引き続き働きかけを行うとともに、新たな商品開発や他の地域の特産品などを本市でも取り扱いてくれるよう模索するなど、返礼品のさらなる充実を図り、制度が存続する限り、ふるさと応援資金寄附金の確保に努めていきたい

ふるさと納税について

と考えている。また、組織的には、横断的な対応で臨んでいきたい。なお、平成27年度は、123件、約1,008万3,000円、平成28年度も、現在まで121件、約572万円の寄附をいただいている。

本市では市税控除影響額が、平成27年寄附分は、約4,500万円、平成28年寄附分は、約7,000万円と見込んでおり、本市への寄附金額を大幅に上回っているというような状況であり、さらなる寄附金額の確保が必要であると認識している。



その他の質問項目

- 新河岸川中洲について
- 音響式信号機について
- 公職選挙法について
- 施政方針について



天田いづみ
リベラル市民21

◎天田いづみ議員

昨年8月25日付で、志木市図書館協議会より志木市立図書館に求められる役割と今後の運営のあり方について答申が提出された。その中に、墨田区立ひきふね図書館が行っている図書館パートナーをモデルとした市民協働による図書館運営のシステムを、本市でも導入するべきとの提言が盛り込まれているが、市民協働のビジョン、今後の方向性について伺う。

また、その答申の中で、魅力ある事業を実施するために市民協働に取り組む体制を整えるには、直営に一部業務委託を併用した運営方法が有効な手段であると考えるとの提言もあるが、その後の方向性について伺う。

◎教育長

図書館協議会からいただいた答申を踏まえ、柳瀬川図書館では、平成29年度に、図書館パートナー養成講座を計画したところである。市民の方々が、図書館職員とともに主体的に活動をしていただくことを通して、市民と協働した図書館運営を進めていく。

市立図書館について

また、答申では、墨田区立ひきふね図書館が一部業務委託を取り入れた上で市民協働に取り組み、効果的にサービスの向上につなげていることから、提言されたものと認識をしている。

こうした先進事例を参考に、民間の知識やノウハウを生かす一部業務委託を取り入れ、魅力あるこれからの図書館づくりに努めていきたいと考えている。



柳瀬川図書館

その他の質問項目

- だれもが安心できるまちづくりについて
- だれもが移動しやすいまちづくりについて
- 学校教育法に基づく子どもたちへの支援について

一般質問



穂坂 泰
しきの会・維新

●穂坂泰議員

教員の勤務時間が長いなど、教育現場に関する報道が取り上げられているが、少しでも負担を軽減し、子どもと接する時間を増やし、しっかりと志木っ子の育成をしていってほしい、そんな思いを持っている。

本市における、教員の勤務状況に対する認識について、負担軽減に向けた対応について聞く。

また、学童保育は、目的の違いから所管も異なり、連携は難しいかもしれないが、安全や健全育成のために、情報を共有して対応しなければいけない場面もたくさんあると思っている。所管を超えて情報共有を進められるよう検討をしてほしいと思うが、いかがか。

◎教育政策部長

本市では今年度、子どもと向き合う環境づくり検討委員会を立ち上げ、定時退勤を促す毎月21日のふれあいデイの実施、出張回数削減など、教員の負担軽減に努めている。

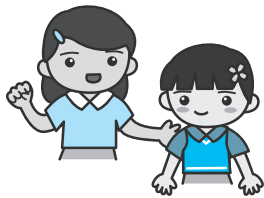
今後は、ICカードを利用した勤務時間の適正管理やICTなどを活用し

子供達の教育環境の向上について

た学年学級事務の効率化など、教員の負担軽減の推進を図っていく。

◎健康福祉部長

学童保育に入所する児童の情報は、子ども家庭課と学童保育を運営する事業者間において個人情報として扱っていたところである。一方で、学校側からも学童保育に通う児童の情報が必要である旨の議員からの意見も踏まえ、平成29年度からは、保護者にも同意をいただいた上で、学童保育入所児童の名簿を児童が在籍する小学校にも提供していきたいと考えている。



その他の質問項目

●安全な道路の環境の整備について

●町内会の活性化を図るために

●未来への投資の健全性を高めるために



吉川 義郎
公明党

●吉川義郎議員

2月11日に、いろは遊学館で、「段また段を成して」という映画を鑑賞した。この映画は、先人たちが差別や偏見と闘い、手話通訳制度化運動など、ろうあ者の人権を獲得してきたこれまでの運動の歴史を紹介するとともに、仲間、組織の大切さを訴える内容になっていった。

手話は、2006年に国連障害者権利条約で言語と明記され、2011年の改正障害者基本法で手話が言語に含まれると規定され、平成27年12月に三芳町で手話言語条例が制定された。

この条例は、本年1月20日現在で全国73自治体で成立し、大阪府など19団体が準備を進めている。本市においても手話通訳者の派遣や手話通訳者養成講座などの開設など既に行ってきたが、手話言語条例の制定を検討すべきと思うが、所見を伺う。

◎健康福祉部長

本市では、平成15年から近隣に先駆けて手話通訳者及び要約筆記者の派遣事業を行い、市主催の講演会や事業に

手話言語条例の制定について

においても積極的に手話通訳等を配置し、ろうあ者に対しての情報保障を行うとともに、災害時避難用パンダナンの作成など障がい者に優しいまちづくりを努めてきたところである。

手話言語条例の制定については、平成29年度は障がい者計画策定の年にとるため、障がい者施策全般の議論を行う中で、志木市聴覚障害者の会や志木手話サークルなど当事者のご意見を伺うとともに、地域自立支援協議会からのご意見もいただきながら手話言語条例の必要性を議論していく。



その他の質問項目

●保育園児への支援について

●「チヨウシヨウインハタザクラ」による魅力発信について

●平成29年度事業について



今村 弘志
公明党

乳がん早期発見・ 早期治療について

●今村弘志議員
新聞報道などによると、マンモグラ

フィーでは乳腺組織が白く映し出され、がんのしこりも同じく白く映るため、乳腺の密度が濃い高濃度乳腺の人は、しこりが隠れて判別できなくなるが、超音波検査を行うと異常が判別しやすくなる。この高濃度乳腺の人に対して、本市ではどのように対応しているか聞く。

また、乳がんは、異常に早く気づくためにも自己検診が効果的であるため、自己検診型グローブを提案する。

自己検診型グローブは胸に当てて自分で検診をするもので、手にはめると指先の感覚がさらに鋭敏になり、小さな病変にも気づける可能性が高くなるほか、自己検診をきっかけに、定期検診を受ける意識が高まると考えられる。そのため、自己検診型グローブの導入ができないか聞く。

●健康福祉部長

本市で実施している乳がん検診は、個別検診と集団検診で、集団検診では、本年度より、受診者に対して、高濃度

不均一高濃度など4種類からなる乳腺の分類結果を通知している。

なお、超音波検査の導入については、今後、国の動向を注視していく。

自己触診型グローブについては、入浴中に自己触診ができるよう、シャワーフックにかけられるタイプの乳がんの自己触診方法が明記されたブレステケアシャワーカードを、集団検診などで配布している。今後は、在庫がなくなり次第、議員の提案である自己触診型グローブの配布を考えていく。



その他の質問項目

●不育症の支援について

●認知症サポーターの活動と役割について

●平成29年度事業について



池ノ内秀夫
しきの会・維新

国道254号バイパス 早期開通について

●池ノ内秀夫議員

昭和51年に都市計画決定され41年が経過し、本市においても、市内主要道路の渋滞緩和、生活道路への流入抑制など、その目的は、日増しに高まってきている。そこで、次の4点について聞く。

国道463号との立体交差化工事はどうなっているのか。

部分開通について、国道463号から、県道、志木高校入口バス停間は、立体交差化工事に続き、行われることが望ましいが、いつか聞く。

県道さいたま東村山線との交差は平面と聞いた。一番懸念しているのは、交通渋滞である。この場所は、川越市から和光市間でも交通量のもっとも多い宗岡の中心市街地を通過する県道であり、安全に横断できるよう望むがどう考えるか。

市内用地買収状況について聞く。

●都市整備部長

志木市側、富士見市側にそれぞれ橋台1基と橋脚2基が設置され、橋桁が架設されるものである。本格的な工事

着手は、4月以降である。

市内の工事着手時期については、現在、詳細設計が進められており、設計などが済み次第、工事着手が図られるよう要望していく。

昨年6月議会での議員の意見も含め、県に渋滞箇所とならないよう、安全に横断できるよう要望してある。今後、県では宗岡地域の町内会や小中学校のPTAなどへの説明会を経て、交差点の設計を進めていくとのことである。

本年2月末時点で、国道463号から県道志木高校入口バス停間が約98%、県道さいたま東村山線までが約84%、宮戸橋通りまでが約93%、朝霞市境までが約87%で、市全体は約92%であり、工事に少しでも早く着手するよう、県へ要望する。



県道さいたま東村山線



河野 芳徳

しきの会・維新

◎河野芳徳議員

事業実施の前に、他自治体が始めているサウンディング型の市場調査を入れてほしいと考えている。サウンディング型市場調査は案件の内容などを決定する前段階で公募により民間事業者の意向調査、直接対話を行い、当該案件のポテンシャルを最大限に高めるための諸条件の整理を行うもので、民間事業者にとってもみずからのノウハウと創意工夫を事業に反映し、参入しやすい環境、公募条件とすることができ

る。サウンディング型の市場調査については、多少デメリットもあるが、公共部門は財政支出削減の可能性があったり、民間部門としては、安定した収入が見込める、住民からは情報公開が進むことが期待できるなどのメリットもある。本市でもこのサウンディング型の市場調査を導入することができないか、今回、補正予算を計上している市民会館、市民体育館の整備手法比較検討調査事業においても、実施できるのではないかと考えているが、いかがか。

民間活力の推進について

◎企画部長

サウンディング型の市場調査も、民間委託を推進するために有効な手段であると認識している。先進市での状況を十分に調査した上で、手法を取り入れ、民間活力の導入を推進していく。

今回、補正予算に計上している市民会館、市民体育館の整備手法比較検討調査においても民間事業者に対する意向調査を予定しており、サウンディング型の市場調査の手法も含めて、今回の比較検討調査の中で取り入れ、民間事業者のアイデアやノウハウを最大限に活用していきたいと考えている。



市民会館

その他の質問項目

●道路維持補修について

●職員の接遇・人材育成について

◎安藤圭介議員



安藤 圭介

しきの会・維新

柳瀬川の堤防（高橋付近）のさらなる安心・安全の具体的な対策について、高橋付近の安全対策について聞く。

本市では昨年の台風9号の際、床上浸水が計17棟、床下浸水が計60棟あった。私自身も、柳瀬川や新河岸川の川の増水を確認していたが、柳瀬川堤防をもう少しで越水するという大変危険な状況になり、さらに市道第1239号線の高橋付近では、堤防の越水をおそれて周辺住民の避難勧告が出たことは周知のとおりである。

このような不安をなくすために、堤防のかさ上げがどうしても必要であると考えているが、本市の見解を聞く。

◎都市整備部長

昨年の台風9号では、柳瀬川の水位が上昇し越水のおそれがあったことから、市では柏町1丁目、2丁目の地域に避難勧告を発令し、市民の安全確保に努めた。その後、台風9号による災害を踏まえ、朝霞県土整備事務所に河道の断面を維持するための河床掘削や流木など水流を阻害する障害物の除去

水害対策について

など、日ごろから適正な維持管理に努めていただくよう要望を行ってきた。

また、堤防のかさ上げについては、高橋地区付近の対策を検討中で、出水期前には堤防の盛り土工事を実施する予定とのことである。

このようなことから、早期に対策工事を実施いただくとともに、市民の安全な住環境を確保するため、適正な維持管理に努めていただくよう引き続き要望をしていく。

その他の質問項目

●自然災害時の緊急避難対策について

●自然災害時の火災防止について

●道路行政について



市道第1239号線の高橋付近



岡島 貴弘
こころざし
志の会

「志木の杜」の隣接公園について

◎岡島貴弘議員

柏町1丁目志木の杜公園及び柏の杜ふれあい公園は、地域住民の貴重な憩いの場として日々多くの人でにぎわっているが、遊具はとも少なく、日陰がほぼなく、乳幼児及びその保護者、高齢者の方々にとって大変過ごしにくい環境となっている。

また、いつ起こるか分からない巨大地震に際しても心配している。志木の杜マンション3棟には、728世帯、2,000名の方々が住んでいて、避難場所は志木第三小学校となるが、建物の倒壊や火災により避難場所にたどり着けないことも想定でき、志木の杜公園が一時避難として有効となる。そのため、公園を整備しておく必要があると考えている。

公園の環境整備に関して、また遊具の増設に関して所見を聞く。

◎都市整備部長

公園については、マンション開発により整備がなされ、その後市に帰属されたものであり、公園も一体的に整備されたものであることから、新たな施設は開発コンセプトにそぐわぬことにもなるので、設置は考えていない。

また、販売時のパンフレットなどには子どもたちの成長にあわせて豊かな森の風景が形づくられていくと表現されており、まちの成熟とともに木々も成長し、日陰もつくられていくものと考えていることから、引き続き現状において適正な維持管理に努めていく。

また、防災面の対応については、地域防災計画の中などで議論をしていくものと考えている。



志木の杜公園

その他の質問項目

- 市たばこ税収と市民の健康について
- 個人情報取り扱いの重要性について



高浦 康彦
日本共産党

医療費の一部負担金の減免等について

◎高浦康彦議員

志木市国民健康保険に関する規則第12条の一部負担金の減免又は徴収猶予については、医療費窓口払いの際の減免と徴収猶予について定められており、4つの条件のうち、どれか一つに該当すればこの規則を適用するというものである。

第1号は震災、風水害、火災など災害にかかわる場合、第2号は干ばつ、冷害等の農作物の不良などによる場合、第3号は事業又は業務の休廃業、失業したという場合である。第4号では、前各号に掲げる場合のほか、一部負担金の減免又は徴収猶予を受けることを相当と認める事由があったときとある。この第4号について、この事由とする基準について、聞く。

◎健康福祉部長

一部負担金の減免基準については、国からの通知を踏まえ、入院療養を受ける被保険者の属する世帯について、その世帯の収入の合計額について、生活保護における基準額の1.1倍を目安としている。

また、一部負担金の減免件数は、平成26年度が4件、平成27年度が3件、平成28年度が3件で、このうち災害を事由とするもの以外の件数は、平成26年度と平成27年度がいずれも1件で、平成28年度は、今のところない。

なお、今後においても、国からの通知を踏まえ適切に対応していく。



その他の質問項目

- 新年度の国家予算案に見る補助金等の活用について
- 臨時職員の処遇改善について
- 教職員の長時間労働の実態と改善について
- 小中学校の給食費無償化について
- 就学援助費の支給方法の改善について
- 「ハタザクラ」教員の処遇改善について
- 安全な車・歩道の整備について



水谷 利美
日本共産党

◎水谷利美議員

現在まで、県との協議はしていないと聞いているが、今後の予定や協議の内容はどうなるのか。

私たちは、宗岡の静かな環境を守ってほしいと思っている。少しでも騒音や振動の被害を減らすということをし、志木市としても要求していく協議をしてほしいと考えているが、いかがか。

また、42メートル幅の254号バイパスの歩行者の横断について、本当に安心して渡れるのか、考えを伺う。

◎都市整備部長

現在、県において道路の詳細設計が行われているが、本市との設計協議は行われていない。今後協議を行っていくに当たっては、工事中及び開通後の騒音・振動、通学路や交差点の安全対策など、さまざまな問題があると思われるので、庁内においても議論を行い、協議をしていきたいと考えている。

一般国道254号バイパス ついで

◎市長

昨年の町内会長会議では、県から説明が行われ、その際も市民説明会の開催について改めて強く要請したところである。こうした働きかけにより、3月16日には、宗岡地域の町内会やPTAの方々などをメンバーとする説明会が開催されるとのことであり、また、今後は対象を限定しない市民説明会も開催していくとのことである。

今後の説明会の日程などについては、わかり次第、広報紙などにも掲載し、広く周知を図っていく考えである。



その他の質問項目

- 水害対策の止水板について
- 不育症への支援について
- 子ども医療費助成制度について
- 秋ヶ瀬橋の騒音対策について
- 介護保険制度について



多田 光宏
NHKから
国民を守る党

◎多田光宏議員

あるブログ記事が、ネットで話題となった。ブログの筆者は、引越した後もNHKに対して住所変更をしていなかったが、NHKが住民票の除票の写しを取得して、引越越し先を確認し、住所変更を行ったというものである。

通常、住民票の除票の写しは、本人か、本人の委任状を持った代理人でないと交付してもらえないはずであるが、第三者請求という制度が住民基本台帳法で定められており、本人以外でも請求すれば、本人の許可なしに住民票の除票を取得できる場合があるそうである。

本市においては、1年間に第三者請求が何件あり、そのうちNHKは何件か。また、NHKによる請求の事例があるのであれば、どのような対応をしたのか、伺う。

◎市民生活部長

住民基本台帳法第12条の3には、第三者からの交付請求の制度があり、これにより、正当な理由がある場合についてのみ、第三者請求として住民票の

住民票について

交付請求ができることとなっている。

日本放送協会からの第三者請求は、本市では請求があったことが確認されているが、住民票の交付は年間約4万件に上ることから、第三者請求に係る正確な数字の把握は困難である。

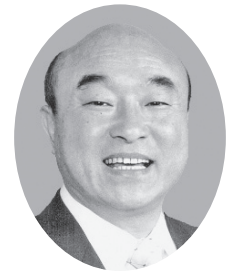
また、請求の内容については、債権回収を目的とするものであり、本市では、住所変更のみを理由とした第三者請求については、住民票の交付は行っていない。



住民票を交付している総合窓口課

その他の質問項目

- 選挙公報について
- 市役所本庁の電話番号について
- 無料駐輪場について
- 放置自転車について



小山 幹雄

しきの会・維新

◎小山幹雄議員

和光市、朝霞市、新座市などには児童館があるが、志木市にはない。埋蔵文化財保管センターに児童会館を設置したらいかがか。埋蔵文化財保管センターにある出土品などについては、宗岡に郷土資料館があるが、だいぶ老朽化して、そろそろ建てかえる時期が来ているので、建てかえたときに一緒にしてはどうか。一緒に建築して、今の埋蔵文化財保管センターを児童会館にしてほしいと考える。

なぜ、児童会館にしてほしいか。私は何回も質問をしたが、あの場所は子どもたちのために寄附されたプールがあった。そのため、子どもたちのために児童会館をつくって、子どもたちが放課後そこで遊べる、また勉強する場を設けて、ぜひ児童会館として利用をしていけないかということについて聞く。

◎教育政策部長

埋蔵文化財保管センターは、市内の各包蔵地から発掘された貴重な出土品を保管するとともに、調査報告書刊行

児童会館の設置について

のための整理作業を行うなど、先人たちが残した貴重な財産を後世へ引き継ぐため大切に保存し、展示公開する役割を担っている。

また、中学生の職場体験や発掘現場見学会、出土品展・遺跡展などの開催を通して、子どもたちの郷土愛を育む事業にも取り組んでいる。

今後、郷土の歴史を物語る大切な出土品を次代に伝えるとともに、子どもたちをはじめ多くの方々から郷土愛を育む場として、埋蔵文化財保管センターのより一層の周知活用に向けていく。



その他の質問項目

●にぎわいある街づくりについて

議会からのお知らせ

議長交際費 平成29年1月～3月

支出日	件名	支出額
1月6日	朝霞駐屯地賀詞交歓会	3,000円
1月7日	朝霞青年会議所新春賀詞交歓会	5,000円
1月13日	志木市民生委員・児童委員協議会新年会	5,000円
1月14日	志木市スポーツ少年団指導者交流会	4,000円
1月16日	志木市食生活改善推進員協議会新年会	2,500円
1月19日	志木市母子保健推進員連絡協議会新年会	5,000円
1月20日	志木市商工会新春講演会と新年賀詞交歓会	4,000円
1月22日	志子連新年会	4,000円
1月23日	志木市くらしの会新年会	2,500円
1月23日	志木市連合婦人会新年会	5,000円
1月30日	志木市社会福祉協議会新年懇親会	2,000円
1月27日	朝霞法人会志木支部 新春賀詞交歓会	10,000円
1月30日	志木市農業委員会新年会	10,000円
1月31日	志木市老人クラブ連合会新年交礼会	6,000円
2月4日	志木市体育協会新年賀詞交歓会	5,000円
2月6日	志木川信会新年会	5,000円
2月7日	志木市商工会女性部新年懇親会	4,000円
2月10日	志木市町内会連合会新年懇親会	5,000円
2月11日	小林民舞会新年会	7,000円
2月12日	光良会新年会	5,000円
2月13日	志木料理飲食店組合・志木市食品衛生協会合同の新年会	5,000円
2月14日	鈴木義明元市議香典	10,000円
2月21日	鈴木義明元市議生花代	16,200円

平成29年第2回定例会の会期日程(案)

月	日	会議の内容
7月	5日(水)	開会
7月	6日(木)	議案調査日
7月	7日(金)	議案調査日
7月	10日(月)	総括質疑
7月	11日(火)	議案調査日
7月	12日(水)	議案調査日
7月	13日(木)	議案調査日
7月	14日(金)	常任委員会
7月	18日(火)	議案調査日
7月	19日(水)	一般質問
7月	20日(木)	一般質問
7月	21日(金)	一般質問
7月	24日(月)	議案調査日
7月	25日(火)	議案調査日
7月	26日(水)	閉会

※日程は予定であり、変更になることがあります。

※開議は午前10時からです。